

## 【別紙】新体育館整備事業アドバイザー業務委託事業者の選定に係る評価基準

	評価項目	評価内容	配点	応募書類	
一次審査	(1) 業務実績	国又は地方公共団体との間でPFI方式またはDBO方式によるスポーツ施設整備に係る事業者の選定を支援するアドバイザー業務を完了した実績（モニタリングのみに係る契約を除く。）または同方式による国又は地方公共団体の文化施設その他公共施設整備に係る事業者の選定を支援するアドバイザー業務を完了した実績が豊富かどうか。	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務実績(様式2)</li> <li>・会社概要(様式5)</li> <li>・予定技術者の経歴等(様式6)</li> </ul>	
	(2) 実施体制評価	配置を予定する技術者について、1級建築士又は、技術士（総合技術監理部門又は建設部門）の資格を持ち、かつ国又は地方公共団体との間でPFI方式またはDBO方式によるスポーツ施設整備に係る事業者の選定を支援するアドバイザー業務を完了した実績（モニタリングのみに係る契約を除く。）または同方式による国又は地方公共団体の文化施設その他公共施設整備に係る事業者の選定を支援するアドバイザー業務を完了した実績があるかどうか。	150		
二次審査	(1) 全体評価	提案内容の的確性	仕様書や新体育館のコンセプト、方向性を的確に踏まえ、明確かつ具体的に提案されているか。	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務実施方針(様式9)</li> <li>・業務実施手法(様式10)</li> </ul>
		提案内容の実現性	実施方法が具体的で、実現性があるか。	100	
		事業への理解・知識	事業内容及び目的に関する理解・知識が十分にあるかどうか。	50	
		プレゼンテーション	プレゼンテーションの内容は分かりやすく、質問に対する応答は適切か。	25	
	(2) 業務遂行評価	理解度	本事業の特性や本業務の詳細を理解しているか、また本事業及び本業務の課題を把握しているか。	100	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務実施方針(様式9)</li> <li>・業務実施手法(様式10)</li> </ul>
			提案力	基本計画で示す新体育館のコンセプトと方向性やにぎわいの創出を実現するための、民間事業者との対話等の工夫が提案されているか。	
		プロや一流のスポーツを身近に“見る（観戦する）”ことができる環境を充実させるための工夫が提案されているか。		100	
		民間事業者のノウハウを最大限活用できるような実施方針、要求水準書の作成が期待できるか。		100	
		多くの事業者の参加を呼び込むとともに、最適な整備事業者を選定するための工夫が提案がされているか。	100		
	(3) 独自提案評価	事業者のノウハウや知識・経験を活かした創意工夫が見られ、効果が見込める提案がなされているか。	50	・独自提案(様式11)	
	(4) 業務工程評価	業務実施体制	担当者の実績や能力、資格等、業務遂行に十分な組織体制が整えられているか。	150	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定技術者の経歴等(様式6)</li> <li>・業務実施体制(様式7)</li> </ul>
			各工程ごとに妥当な時間配分がなされ、業務完了に至るまでの過程が明確に説明されているか。	75	・業務工程計画(様式8)
	(5) 価格評価		満点×全提案価格のうち最低価格/当該事業者提案価格=評価点 ※提案価格のうち最低価格を満点とし、算出された評価点の小数点以下は切り捨てるものとする。	200	・価格提案書(任意様式)
合計点			1500		